

季  
刊

# まんだらげ



和歌山県立医科大学附属病院広報誌

Vol. **68**

2024  
SPRING



特集

## 新体制のごあいさつ

紀三井寺の桜(和歌山市)

## CONTENTS

Topics …… 診療予約についてのお知らせ／4月1日からの無料Wi-Fiの利用可能エリア拡大について／会計後払いシステムについて

Information …… 令和6年能登半島地震 被災地へのDMAT派遣について／アトピー性皮膚炎の新規抗体療法の開発-皮膚炎症と痒みの同時制御に成功(解剖学第二講座)／次世代リーダー賞／医学部・白衣授与式／ボランティア感謝状贈呈式／臨床研修病院について

### 理念

私たちは安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

### 基本方針

1. 患者さんとの信頼関係を大切にし、十分な説明と理解に基づく同意を得て、安全な医療を行います。
2. 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
3. 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
4. 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学校の校章にも採用されています。

# 新体制のごあいさつ



理事長・学長

中尾 直之

## 県内唯一の大学病院・特定機能病院としての責任を果たす

和歌山県立医科大学は医学部、薬学部、保健看護学部を擁する医療系総合大学として4年目を迎え、今後も挑戦と成長を続け、附属病院を中心として、地域医療の発展に寄与し、社会貢献を果たす使命と責任を担ってまいります。

**1. 地域医療構想において特定機能病院としての責任を果たす** 地域医療構想が県内各病院と行政との間で議論されています。本学附属病院は高度先進医療を提供する本来機能のより一層の強化を行うとともに地域医療機関との緊密な連携と機能分担を推進し、県内の高度急性期から回復期に至るシームレスな医療提供体制の確立に向けて中心的な役割を担います。

**2. 地域医療を担う医療人育成** 本学を将来の和歌山県の地域医療を担う優秀で使命感に満ちた医師、薬剤師、看護師を育成する拠点とします。医学部の県民・地域医療枠、薬学部の県内枠出身者の卒業キャリア形成を支援し、グローバルな視野を持ちつつ意欲を持って地域医療に従事できる体制を構築します。

**3. デジタル情報通信技術 (ICT) を活用した地域医療支援** ICTを活用した地域との医療情報連携や遠隔医療を拡充し、県内医療の地域格差是正を図ります。また、これまで行っていたICT関連企業との連携により、ドローンによる医薬品を運ぶ実証実験をさらに推進し、ドローンを活用した災害時の孤立地域や僻地への医薬品配送などの医療支援体制の構築を実現します。今後の日本の高齢化を考えると、超高齢社会にすでに突入している和歌山県の大学病院のあり方やICTによる地域医療支援の取り組みは、今後の日本の地域医療のモデルケースになりえます。



病院長  
外科学第一講座 教授

西村 好晴

## 安全で良質な医療を提供できるよう努めてまいります

和歌山県立医科大学附属病院は、県内唯一の特定機能病院として国から承認を受けています。特定機能病院の役割として、「高度の医療の提供」、「高度の医療技術の開発・評価」、「高度の医療に関する研修」、「高度な医療安全管理体制」が挙げられています。最も大きな役割は一般病院では対応できない怪我や病気に対応できる「高度の医療の提供」です。当院では、重点診療領域のセンター化を進めてまいりましたが、昨年、県内で最初の「心臓血管病センター」を設置しました。また、従来より進めてきたロボット支援手術として新たに、整形外科において人工関節置換手術用の支援ロボットを導入し、心臓血管外科においてロボット心臓手術を導入いたしました。新体制となり、4名の副院長とともに、附属病院の全職員が高度な医療を安全に患者の皆様提供できるように努めていきたいと思っております。

さて、本年4月から「医師の働き方改革」がスタートします。当院でも医師の長時間労働改善に向けた取り組みを行っています。医師の働き方改革の目的は、安全で良質な医療を患者の皆様提供することです。今後も患者の皆様とよりよいパートナーシップを築いていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 高度先進医療のさらなる充実と 大学病院の安定経営に取り組みます

副院長  
内科学第4講座 教授

### 田中 篤

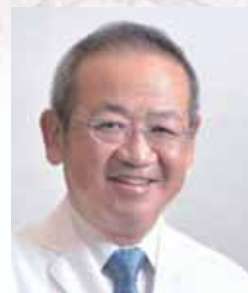


4月から、副院長職（主に経営担当）を拝命します、循環器内科教授の田中 篤です。大学病院の経営を取り巻く環境は厳しさを増す一方ですが、高度先進医療のさらなる充実と安定した医大病院の経営を行うという西村院長の高邁かつ不退転の決意に共鳴し、微力ながら本職を拝受した次第です。お引き受けした際、『鞠躬尽瘁、死而后已（きっきゅうじんすい、ししてのちやむ）』という漢籍が頭をよぎりました。三国志で有名な諸葛孔明が、劉備玄徳の息子の劉禅に奏上した「後出師表」の一節で、「全身全霊、公器のために尽くす覚悟」という意味です。我々も相当の覚悟で和歌山県立医科大学附属病院の運営にあたる所存ですので、どうかよろしくお願い申し上げます。

## 円滑な病院運営のために、医療安全 の立場から支えます

副院長  
泌尿器科学講座 教授

### 原 勲



4月から副院長に就任しました泌尿器科の原 勲です。3月まで中央手術部長を拝命していましたが、今回、院内の医療安全を担当する副院長を担当させていただきます。医療安全とは、病院内で起こった医療上のトラブルを収集・分析することにより原因を特定し、今後同様な事例が発生しないようなシステムを構築することです。現在でも医療安全推進委員会の委員として取り組んでいるところですが、4月からは統括する立場として、院内の医療安全に寄与していきたいと考えています。重責ではありますが、円滑な病院運営のため精一杯努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 安全・安心で、心あたたかな 高度先進医療を和歌山県全体に届けます

副院長  
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授

### 保富 宗城



このたび、西村新病院長のもとで、副院長を拝命いたしました。

和歌山県は、紀北、紀中、紀南と南北に広がります。和歌山県立医科大学附属病院は、県内唯一の特定機能病院として、高度先進医療を安全に、広く県民の皆様へ届ける責務があります。また、県民の皆様の生活との繋がりを守り、安心して暮らせる社会に貢献する医療を提供する使命があります。

人口構成の変化やデジタルトランスフォーメーション、医療技術の高度化・複雑化など、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。安全・安心で心あたたかな医療を提供し、県民の皆様から信頼される病院を目指して、一所懸命努力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 暮らしの場へ患者さんの生活をつなげられるように

副院長  
看護部長

### 芝瀧 ひろみ



このたび、西村新病院長のもとで副院長・看護部長を務めさせていただきます。

和歌山県立医科大学附属病院の理念である「安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献する」ことを目指し、高度先進医療を提供する当院から地域へ、住み慣れた暮らしの場へと患者さんの生活をつなげられるよう、院内のさまざまな医療スタッフや地域の医療機関の方々と連携した切れ目のない看護に努めます。

そして、患者さんとご家族が「信頼と安心」を感じられる看護ができるよう、より一層努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 診療予約についてのお知らせ

4月1日から初診予約（初めて受診される方）の方法が変わります

当院では、今まで以上に患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、令和6年4月1日から初診予約方法を変更することとなりました。

当院は特定機能病院として、高度先進医療を担っています。このため、原則として、診療情報提供書（紹介状）をお持ちの方による「予約制」とさせていただきます。ご予約は、かかりつけの医療機関等から「紹介予約申込書」と「診療情報提供書（紹介状）」とともに当院の予約センターにFAXでお申し込みください。患者さんからの電話による初診予約は中止させていただきます。



- ① 患者さん      かかりつけ医を受診します
- ② かかりつけ医      当院に紹介が必要な場合、「紹介予約申込書」と「診療情報提供書（紹介状）」をFAXで送信します
- ③ 和歌山県立医科大学附属病院      「外来診察予約票」をFAXで送信します
- ④ かかりつけ医      「外来診察予約票」「診療情報提供書（紹介状）」および必要に応じ画像データなどを患者さんに渡す
- ⑤ 患者さん      かかりつけ医から受領した「外来診察予約票」「診療情報提供書（紹介状）」などを当院に持参し、各科外来で受付を行います

### 患者さんからの問い合わせ先

【予約変更、隣がんドック、がん検診後の2次検査の予約】

TEL … 073-441-0489 (受付時間：月～金 / 8時30分～16時00分 (土・日・祝日・年末年始を除く))

【検査予約等の問い合わせ】

代表電話 (073-447-2300) から各診療科外来へ平日15時00分～17時00分までにおかけください。

## 4月1日から無料Wi-Fiの利用可能エリアが広がりました!!

当院では、院内一部エリアにおいて、無料Wi-Fiの整備を行い、令和3年10月1日から利用を開始していましたが、この度、令和6年4月1日から利用可能なエリアが広がりました。なお、ご利用にあたっては、下記の利用規約に同意していただく必要がありますので、併せてご確認をお願いします。

### 利用可能エリア

- 1階～4階各科外来及び総合受付付近
- 5階～12階病室（デイルーム含む）



※ 利用可能エリアは、左記のポスターが目印です。

### 利用方法

無料Wi-Fiをご利用いただくにあたっては、SSID及びパスワードが必要となります。

SSID: waidai-hospital-free-wifi / パスワード: waidai811

※ 利用可能エリアにも掲示しています。

#### 【接続方法】

※ 操作はスマートフォンの機種により多少異なります。

- ① 「設定」アイコンを押す → （「接続」を選択） → 「Wi-Fi」スイッチを右にスライド（又はON）
- ② 表示されるSSID（ネットワークを選択）から「waidai-hospital-free-wifi」を選択
- ③ パスワード「waidai811」を入力して「接続」を押す
- ④ 画面の上部に マークが表示されると設定完了

### 利用規約について

【利用規約（抜粋）】 ※ 全文は当院ホームページに掲載しています。

- ・病院は、スマホ、タブレット等、機器の貸し出しは一切行いません。
- ・病院は、設定等、技術的な質問についての問い合わせを一切受け付けません。
- ・病院は、無料Wi-Fiについて、常に安定した接続環境を保障しません。
- ・無料Wi-Fiを利用するにあたり、悪意のあるサイトまたは第三者よりIDやパスワード、クレジット情報などを窃取される危険があるため、特に重要な通信については、利用者の判断のもと利用してください。
- ・病院は、機器等の障害、院内工事等により、無料Wi-Fiの運用を予告なく中止することがあります。

## 会計時、後払いならお待たせしません!!

当院では会計待ち時間短縮のため、外来医療費後払いサービスを導入しています。

スマートフォンに病院外来アプリ「Sma-pa（スマパ）」をインストールいただき、クレジットカードをご登録後、初回のみ、2階総合受付の⑨番窓口（支払窓口）に設置している専用端末で診察券をご登録ください。

後払いを利用する場合は、毎回、診察終了後に⑨番窓口設置の専用端末にスマートフォンをかざして受付をするだけで、会計をお待ちいただくことなく、そのままご帰宅いただけます。

- ※ 過去の未払いや使用される保険、公費負担医療制度等により、後払いをご利用できない場合があります。
- ※ 外来医療費後払い分の領収証、診療明細書は当院では発行できません。アプリ内でご確認ください。
- ※ 詳しくは院内掲示やホームページをご確認ください。



アプリのダウンロードはこちらから

## 令和6年能登半島地震 被災地へのDMAT派遣について

令和6年能登半島地震で被災された皆さま並びにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。  
当院では、厚生労働省 DMAT (災害派遣医療チーム) 事務局からの派遣要請により、20名 (医師6名、看護師6名、業務調整員8名) を派遣いたしました。

1次隊のDMAT隊員 (医師2名、看護師2名、業務調整員2名) は、要請があった1月9日から6時間後に出発し、1月10日から5日間、派遣先の石川県立中央病院内にある活動拠点本部で医療支援活動を行いました。1次隊の帰任以降も順次、2月5日までの期間、当院の医師、看護師、業務調整員 (リハビリ技師、放射線技師、薬剤師、事務職員等) がDMAT隊員として金沢以南、輪島市、珠洲市にて活動を行いました。  
今後も被災地復興のために、病院としてできる支援を継続してまいります。



1次隊の出発式 (1月9日)



2次隊の出発式 (1月17日)



当院DMAT隊の被災地支援にあたり、和歌山トヨペット株式会社様より「キャンピングカー」のレンタカーを無償提供していただきました。

珠洲市での活動においては、宿泊先がなかったため、キャンピングカーの車内で寝泊りを行い、5日間の任務を無事に終了することができました。



1次隊の帰任報告 (理事長室内)



2次隊の帰任報告 (1月22日)

## アトピー性皮膚炎の新規抗体療法の開発 - 皮膚炎症と痒みの同時制御に成功

### - 解剖学第二講座 -

激しい痒みと湿疹性皮膚病変を特徴とするアトピー性皮膚炎は、激しい痒みに反応して掻く行動が皮膚病変を悪化させ、それがさらなる痒みと掻きたくなる衝動を誘発します (「痒み - 掻破サイクル」)。そのため、しばしば治療が困難となり、また、生活の質を著しく低下させることが知られています。抗ヒスタミン薬、コルチコステロイド、シクロスポリン等が従来治療薬として使用されてきましたが、その効果や副作用、長期使用に伴う潜在的な毒性から十分とは言えないのが現状です。これまで、解剖学第二講座ではオンコスタチン M (OSM) というサイトカインの機能を検討してまいりましたが、今回、このOSMがアトピー性皮膚炎の増悪にも関連していることを発見しました。OSMとアトピー性皮膚炎で痒みを起こすサイトカインであるIL-31はOSMR $\beta$ が共通の受容体サブユニットであることが知られています。そこで、

OSMとIL-31の働きを同時にブロックするために、OSMR $\beta$ に対する抗体をアトピー性皮膚炎モデルマウスに投与し、その効果を検討したところ、重度の皮膚そう痒症と皮膚病変が短期間で著明に改善しました。

これらのことから、抗OSMR $\beta$ 抗体がアトピー性皮膚炎に対する新規の有効な治療薬になると考えています。



研究結果の記者発表の様子：解剖学第二講座 森川吉博教授 (写真右)、小森忠祐准教授 (写真左)

## 「次世代リーダー賞」受賞式について

本学では、研究のリーダーとして将来の活躍が期待できる優れた若手研究者を顕彰しています。今年度は、内科学第二講座の山下泰伸(やました やすのぶ)講師と、生体調節機構研究部の佐々木泉(ささき いずみ)講師が受賞し、2月13日に授賞式を行いました。山下講師と佐々木講師は、授賞式の後、それぞれ受賞講演を行い、「今後も、和歌山県立医科大学の医学研究の発展に貢献していきたい」と、抱負を述べました。



## 白衣授与式

医学部新5年生に対する白衣授与式を令和6年3月1日に本学講堂で執り行いました。全国共通の問題を用いて行う医学全般の知識・実技の試験に合格し、臨床実習を行うことを許された医学部生が、医療人としての心構えを再認識し、決意を新たにすることを目的として、本学の校章を刺繍した白衣を授与しています。

式典では、壇上で全員に白衣授与後、学生代表が臨床実習に向け、決意表明を行いました。現在、学生たちは各診療科において知識や技術の習得に一生懸命励んでいますので、温かく見守っていただければ幸いです。



## ボランティア感謝状贈呈式

令和6年3月11日にボランティア感謝状贈呈式を行いました。

ボランティアの皆さんの日頃からの活動に敬意を表し、ボランティア活動時間500時間を越えた方々に中尾病院長から感謝状が贈られました。

当院ボランティアは、患者さんの車いす介助や診療科までのご案内など、外来受診される患者さんのサポートをしています。受診でお困りのことがありましたら、お気軽にお声がけください。



## 臨床研修病院について

当院は、厚生労働省より指定を受けた臨床研修指定病院です。

指導医の十分な指導・監督のもとに、研修医が日常診療業務に参加することがあります。

地域医療への貢献など、未来を担う医師を養成するために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 1. 臨床研修病院としての役割

基本的な診療能力と先進的な医療の知識・技能を習得し、学術的探究心を有しつつ、安全で質の高い医療の実践を通じて、地域・国際社会に貢献できる医師を育成する。

### 2. 研修理念

医師としての人格、地域の保健医療の向上に貢献する使命感及び学術的探究心の涵養並びに基本的診療能力の習得

### 3. 基本方針

- 豊かな人間性と高い倫理観・使命感を有する医師の育成
- 基本的な診療能力を有し、患者を全人的に診ることが出来る医師の育成
- チーム医療の役割を理解し、リーダーシップを取って医療を実践できる医師の育成
- 医療への社会的ニーズを十分に理解し、地域医療に貢献できる医師の育成
- 高度で先進的な医療の知識及び技能、医学の発展に寄与する学術的探究心を有する医師の育成

## 予約センターからのお知らせ

### ～診療予約のご案内(初めて予約される方へ)～

当院の外来受診は、原則として「診療情報提供書(紹介状)」をお持ちの方による「予約制」とさせていただいています。ご予約は、かかりつけの医療機関等からFAXでお申し込みください。患者さんからの電話による初診予約は中止させていただきます。

#### ■ 医療機関からのご予約

- 1 かかりつけ医療機関等から当院所定の「紹介予約申込書」と「診療情報提供書(紹介状)」を予約センターあてにFAX送信してください。
- 2 予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関にFAX返信します。夜間・休日の場合は翌平日にFAX返信します。
- 3 予約当日は、「外来診察予約票」・「診療情報提供書(紹介状)」・保険証・診察券(受診歴のある方)・各種医療券・常用薬・お薬手帳を持参のうえ、各診療科外来受付に直接お越しください。

#### ■ ご本人からのご予約

令和6年4月1日から患者さんからの電話でのお申し込み受付を中止させていただきます。  
令和6年9月30日までは電話での予約受付対応も可能ですが、できるだけかかりつけの医療機関を通してのFAX申込にご協力ください。  
なお、ご予約の変更は引き続きお電話で受け付けさせていただきます。(073-441-0489)  
検査予約の変更についてご相談の場合は、当院の代表番号(073-447-2300)から各診療科外来へ平日15:00～17:00におかけください。

### 予約センター(患者支援センター)

FAX(医療機関専用) … 073-441-0805

【受付時間：月・火・水・金 … 9:00～19:00 / 木 … 9:00～17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)】

TEL(患者さんから予約変更専用) … 073-441-0489

【受付時間：月～金 … 8:30～16:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)】

※ 膝がんとドック及びがん検診後の2次検査の予約については、上記予約変更専用番号にてご予約が可能です。

### 最新の医学・医療カンファランスのお知らせ

令和6年度 第一回市民公開講座「最新の医学・医療カンファランス」を下記のとおり開催します。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。(定員は先着30名まで)

● 開催日：令和6年5月9日(木) 14:00～16:00

講演1：『集中治療後症候群 - 重症患者の長期予後改善をめざして -』

講演2：『認知症と漢方について』

● 会場：紀三井寺キャンパス 図書館棟 3階研修室

● 申し込み：生涯研修センター … TEL：073-441-0789 (申し込み締め切り → 令和6年4月18日(木)まで)

#### 患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

1. 個人として尊厳と人格が尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
2. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
3. 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
4. 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
5. 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※ 当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

#### 患者さんへのお願い

当院では、さまざまな医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

1. 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
2. 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
3. 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
4. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
5. 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願いいたします。
6. 医師、看護職員、病院職員に対する謝礼、贈答品は固くお断りしています。